

世田谷キャンパス

ポイント見学
散歩しながら見られる場所



武蔵工業大学創位の由来

武蔵工業大学は昭和4年9月東京五反田に武蔵高等工科学学校の設立されたこときその始りとする。

本学の創位は創設当時の学生たちの真摯な努力と熱意の實現したものである。当時東京高等工科学学校在学していた学生たちが同校の経営方針に満足せず、自分達の理想とする学園の設立を期してひたむきな努力を続けた結果、この学生たちの熱意と勤めによって及川恒忠先生、西村有作氏等と共に本学を創位したのである。

建学の精神「公正 自由 自治」はこの時作られ、今日に受け継がれており、本学の精神的支柱となっている。

本学の創位地五反田の大岡上へより、現在地へ移転し、昭和29年学制改革により新制大学に昇格し現在の武蔵工業大学となった。昭和29年西村有作氏の申請により五島慶太郎の経営引継ぎ、学校法人五島有英会武蔵工業大学として今日の発展の基盤が築かれたのである。

ここに創位50周年を迎え、當つて本学の益々の発展を祈念し、創位記念碑を建立したのである。

昭和54年10月17日
武蔵工業会

正門前





学校法人 五島育英会 武蔵工業大学 創立75周年記念

さくらセンター及び図書館建設 寄付者ご芳名録

本学は昭和4年に武蔵高等工科学校としての創立以来、平成16年10月をもって創立75周年を迎えました。この間、産業界等に貢献する有為な人材を多数輩出し、高い評価を受けて参りました。これも偏に関係各位のご高配の賜と深く感謝申し上げます。

この創立75周年記念事業の一環として世田谷キャンパスにおいて標記の建物を竣工させました。

この事業の遂行に際しましては、お陰をもちまして企業団体・卒業生・ご父母・教職員等関係各位からご理解とご協力を得て多大なご寄付を頂きました。

ここに感謝の意を表し、寄付者ご芳名録を作成して、永く記録に留めることにさせていただきます。

平成16年10月

学校法人 五島育英会
理事長 山口 裕博

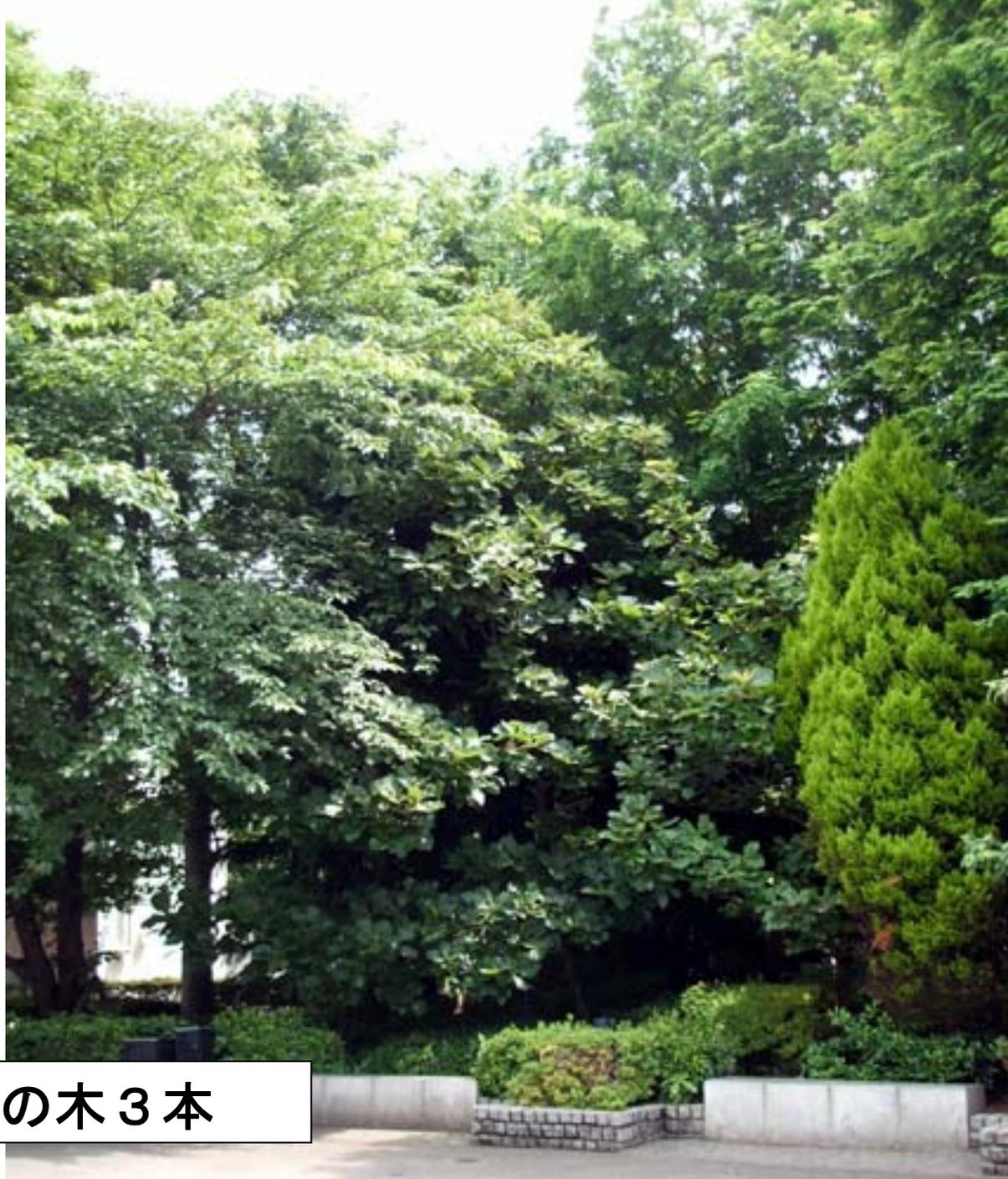
武蔵工業大学
学長 中村 英夫



75周年記念事業 募金者名簿 1号館3階



世田谷キャンパスの変遷を記憶する、豌豆の支えから成長した「すずかけの木たち」、武蔵工大だより、20号(昭和46年7月)、田中兼義名誉教授寄稿より



記念樹、柏の木 3 本



柏の木、3本



昭和39年度卒業生、じばらクラブ、サンワみどり基金、記念樹、柏の木3本



五島慶太翁像

3号館中庭

五島記念館（3号館）1階



武蔵工業会寄贈



武蔵工業大学後援会寄贈

新学部学科事務室

知識工学部

情報科学科

情報ネットワーク工学科

応用情報工学科

事務室

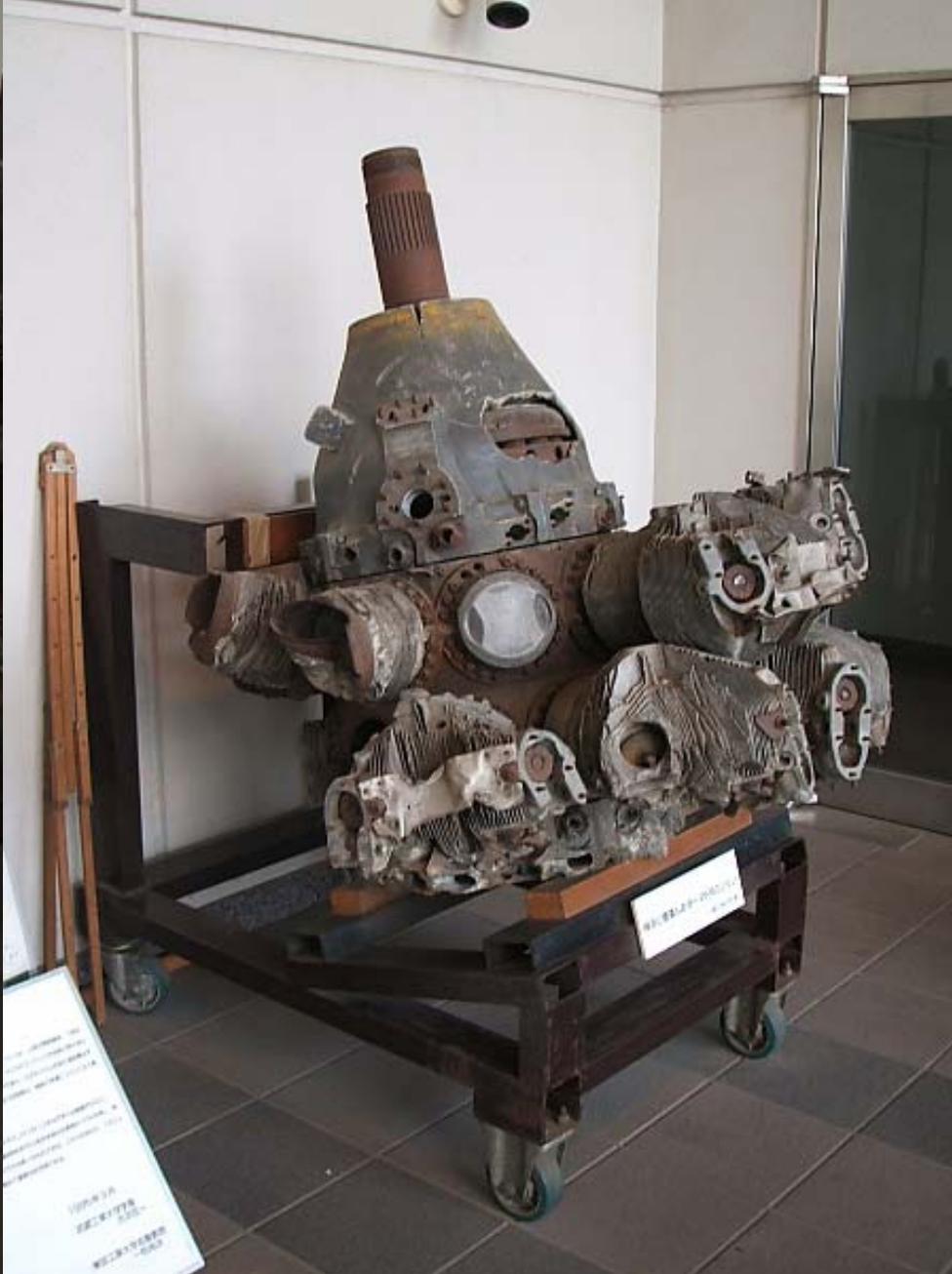
工学部

コンピュータ

・メディア工学科

事務室





撃墜されたB29のエンジン展示（五島記念館1階）



JUSTITIA

LIBERTAS

AUTONOMIA

公正

自由

自治

1号館玄関

3.141592653589793238

3.141592653589793238

体育館、食堂棟1階 π 、400桁



8751058209749445923078164062862089986280343214211 2574271486



新体育館食堂棟、旧体育館床板の再利用



新図書館 1 階、武蔵工業会説明パネル（期間限定）

武蔵工業会とは？

武蔵工業会とは、武蔵工業大学と、その前身校である武蔵工業専門学校（以下「母校」という。）の卒業生が主な会員である同窓会組織です。現在、昭和33年経団連の理事長一氏が第16代理事長を務めております。

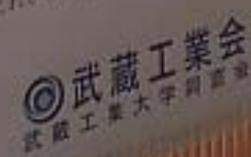
さて、武蔵工業会の会員も本年3月で5年、53万各を数え大きな規模となりました。各学科から進出された理事を中心に、常務理事会組織が日頃の運営的運営を担っております。全会員を対象に、定期総会・懇話会が年一開催されています。また年間の事業計画の他、会計予算の決定や組織に貢献された会員の表彰なども行っております。また、日本各地に35の地方支部と29の職場支部があります。部外にも韓国、台湾にもそれぞれ支部があり、いずれも活発な活動を続けております。

ところで、皆様は、武蔵工業会の運営は、会員の情熱の会費によって運営されていることをご存知でしょうか。母校との各種イベントの共催、在学生への奨学金の給付、学術研究者への奨励金や研究助成金の贈呈など可能な限り母校や在学生を応援しております。また、現在母校に在籍している留学生は約165名おります。その留学を支援し、日本の文化や文化芸術に親しみってもらうための奨励金を毎年提供しております。これらの活動は、すべて会員の情熱の会費により、成り立っております。しかし、その会費の約7割は学生が年々減少し、苦しい運営を強いられております。そのような状況の中、工夫や発想の転換を図り、生き生きと同窓会活動を展開しております。

武蔵工業会本部は、出田谷キャンパス1号館4階に所在し、卒業生の皆様が安心して母校を訪ねられた時の案内や地方・職場支部にある115、各同窓会会費の納入窓口となっております。どうぞお気軽にお立ち寄り下さい。

さて、母校は、平成15年度に創立75周年を迎え、各種記念事業や記念行事等々、大々く開催されました。私ども武蔵工業会としましては、この栄えある創立75周年を祝い、念事業の一環として、卒業生を対象に「創立75周年記念事業委員会」を組織し、ところどころ、900名の会員の皆様からご賛助とご支援をいただき、大きな成果をおさるごことが出来ました。改めてお礼を申し上げます。

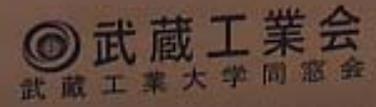
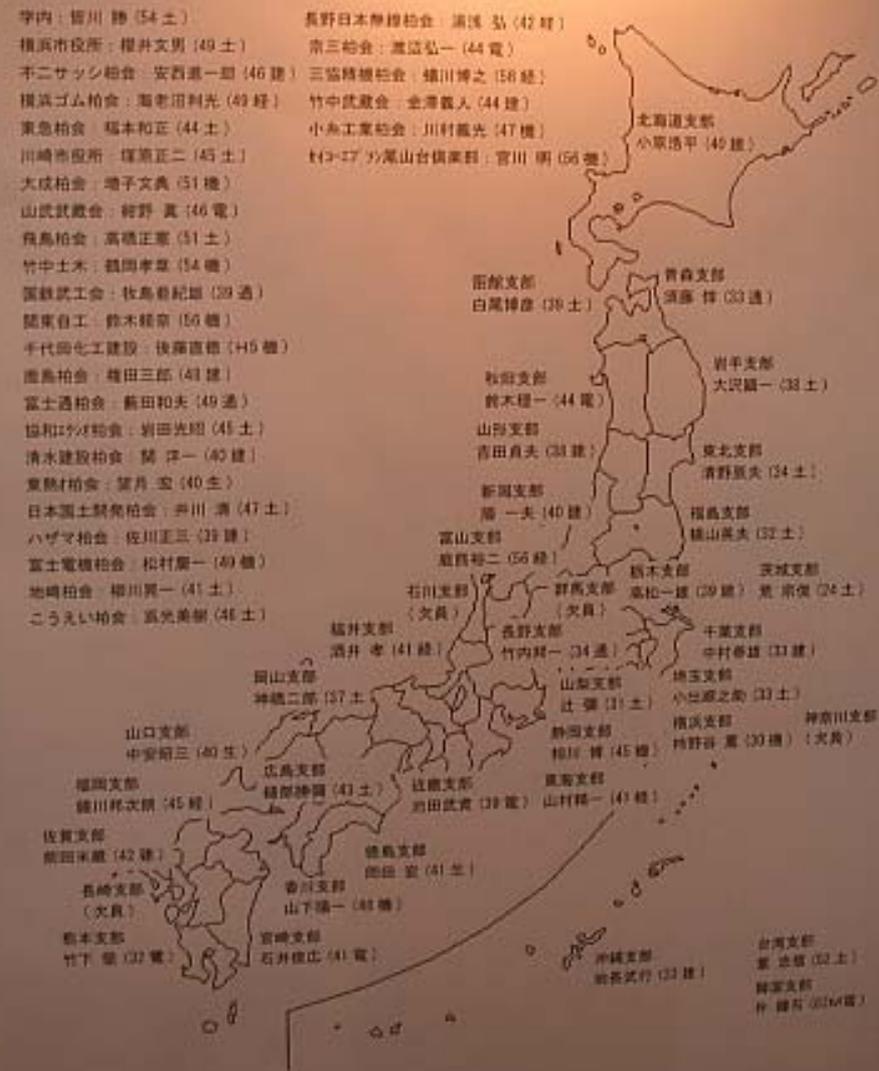
以上のように武蔵工業会は、母校の発展のために母校とともに歩んでおり、どうぞ皆様の限りないご支援をこれからも宜しくお願いいたします。



武蔵工業会の地方支部・職場支部

～ふるさとの卒業生・共に働く卒業生～

主催者：武蔵工業大学同窓会・本部







水素自動車、屋外展示（13号館脇）



1 1 号館 5 階、階段脇、機械工学科材料力学研究室



耐震補強



最初のウォシュレット

1号館、各階（2006年）

横浜キャンパス

楷の木

学問の木





環境情報学部、開学10周年
記念碑序幕



第10回横浜祭(環境情報学部)、2006年6月3, 4日





横浜祭展示